海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成30年度末時点の検証について

令和元年11月20日

海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

≪目次≫

項　　目	ページ
１　今年度の総合戦略の主な意見交換項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	２
２　海田町の人口の現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	３
３　達成に向けた状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	４

1　今年度の総合戦略の主な意見交換項目

【趣旨】
**　海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という）のKPI値それぞれの平成30年度末時点での達成に向けた状況の検証を行ったため，その報告を行う。その報告を受けて，総合戦略のKPI値の検証及び施策の進め方について，委員の意見をいただく。**

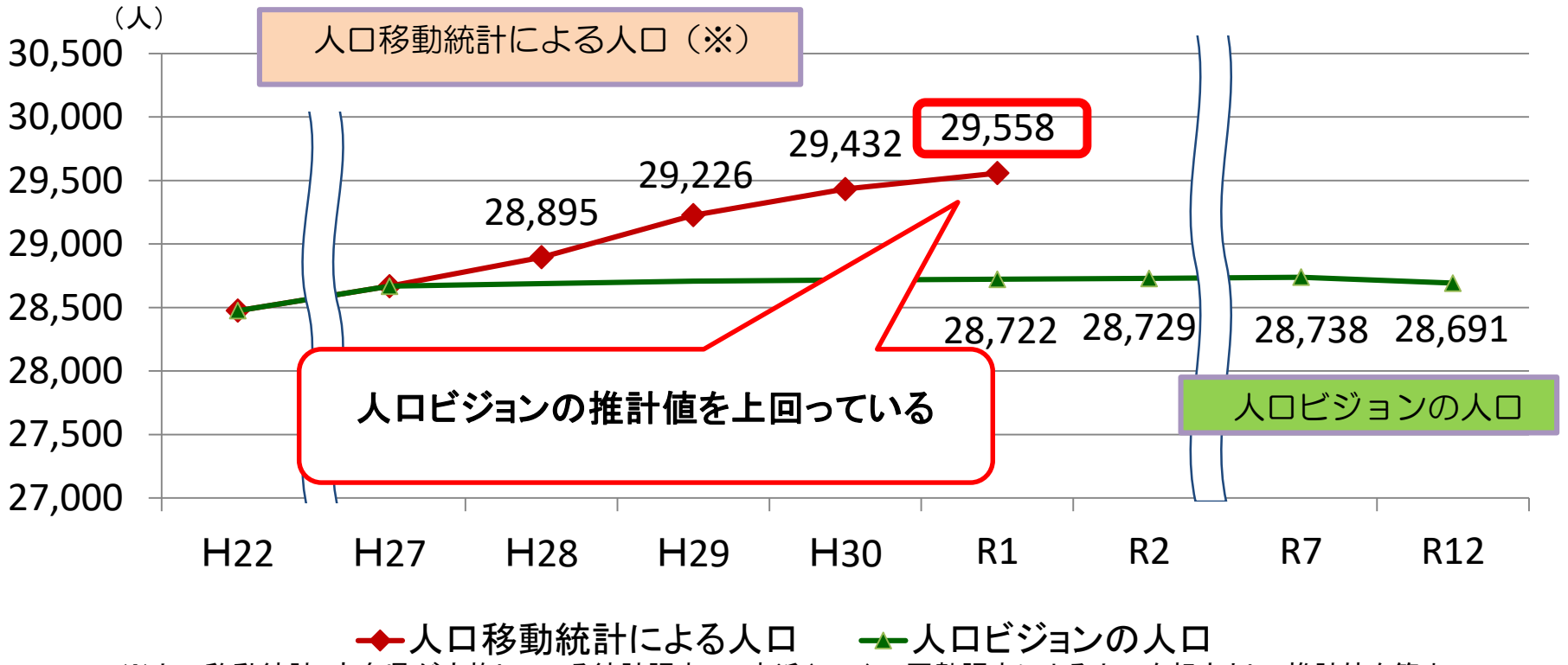
令和元年度

主な意見交換項目

- 現総合戦略の評価と今後のまちづくりの方向性について
  - ・海田町として重点を置く分野について
  - ・施策や事業のアイディアについて

２ 海田町の人口の現状

現状においては，総合戦略における人口ビジョン（H27．9月策定）の推計人口を上回り，増加傾向で推移している状況。



※人口移動統計：広島県が実施している統計調査で，直近（H27）の国勢調査による人口を起点とし，推計値を算出

３　達成に向けた状況

政策分野ごとの各施策の達成に向けた状況を評価

平成30年度末現在の実績値と計画の最終年度である令和元年度の目標値を比べ，次の4つの区分で，施策の達成度合いを評価

- 順調

  平成30年度のKPI実績値が，令和元年度の目標値を上回っている。

- 概ね順調

  平成30年度のKPI実績値が，令和元年度の目標値を下回っているが，令和元年度までに達成の見込みがある。

- やや遅れ

  令和元年度の目標達成に向け，遅れが生じている。

- 遅れ

  令和元年度までの目標達成が困難である。

3　達成に向けた状況

総評

政策分野	指　標			
	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
≪政策分野1≫ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	8	1	2	
≪政策分野2≫ 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る	3	6	2	5
≪政策分野3≫ 海田町への新しいひとの流れをつくる	3		1	2
≪政策分野4≫ 働きがいのある就労の場を確保する			5	1
合計	14	7	10	8

- 総合戦略全体としては，基本目標（数値目標）・KPIのうち，「順調」・「概ね順調」が合わせて53.8%となっている。
- 各政策分野の基本目標については，4分野のうち3分野が「順調」・「概ね順調」となっている。（合わせて75%）
- 人口の現状については，引き続き，増加傾向で推移しており，人口ビジョンの人口推計を上回っている。
- 以上の状況を踏まえ，引き続き，各施策に取り組むとともに，「やや遅れ」または「遅れ」となるKPIで更なる充実が必要な施策等については，今後，検討を行い，関連施策に取り組んでいく。

3　達成に向けた状況

≪政策分野1≫　結婚・出産・子育ての希望をかなえる

区分	施策名	指標名	H26基準値	H30実績	R1目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
基本目標		出生数	316人	329人（速報値）	335人		○		
(1)出産・子育てしやすい環境の整備	①妊娠・出産に対する支援の充実	パパ・ママスクール年間延べ参加者数	158人	182人	170人	○			
	②家庭における子育ての支援	かいた版ネウボラ年間延べ利用者数	―	49,260人	35,200人	○			
	③保育サービスの充実	待機児童数	0人	0人	0人	○			
(2)子どもが健やかに育つ環境の整備	①子どもの居場所づくり	児童館年間延べ利用者数（2館）	13,805人	14,077人	14,000人	○			
		放課後子ども教室年間延べ利用者数	1,922人	3,484人	2,220人	○			
	②子どもの遊び場づくり	海田総合公園年間延べ利用者数	230,000人	178,829人	240,000人			○	

3　達成に向けた状況

≪政策分野1≫　結婚・出産・子育ての希望をかなえる　（続き）

区分	施策名	指標名	H26基準値	H30実績	R1目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
(3)学校教育の充実	①自立して社会で生きていく基礎となる「生きる力」の育成	全国学力・学習状況調査「活用に関する問題」における国の平均正答率との差	小学校 国語+9.4pt 算数+4.5pt 中学校 国語+3.0pt 算数+6.3pt	小学校 国語+9.3pt 算数+5.5pt 中学校 国語-2.2pt 算数-0.9pt	全教科 +7pt			○	
		中学校卒業時英検3級程度以上の取得率	21.0%	76.3%	70.0%	○			
	②児童生徒の安全・安心の確保と質の高い教育環境の整備	学校施設耐震化率	87.5%	100.0%	100.0%	○			
(4)結婚に対する意識の醸成	①結婚に関する情報提供	セミナー等の年間開催回数	0回	2回	1回	○			
小計						8	1	2	

3　達成に向けた状況

≪政策分野1≫　結婚・出産・子育ての希望をかなえる　（続き）

【基本目標の検証】

- 基本目標の「出生数」は，「かいた版ネウボラ」など各種子育て支援施策に取り組んだことにより，基準年より多い出生数となっており，平成29年→平成30年では減少に転じたが，令和元年の目標に向けて概ね順調に推移している。出生数の増傾向を継続できるよう，引き続き，各種子育て支援施策に取り組む。

基本目標	H26基準値	R1目標値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績
出生数	316人	335人	320人	307人	344人	329人

〔※出生数の実績値は，「広島県人口動態統計年報」の数値〕
〔※ただし，H30実績値は，住民基本台帳年集計値〕

【「遅れ」や「やや遅れ」となった主な要因と対応の方向性】

- KPIの「海田総合公園年間延べ利用者数」は，実績値が178,829人と平成29年比で−51,286人と大幅に減少したが，これは平成30年7月豪雨災害による長期間の閉園があったことが主な要因となっている。独自イベントの開催や，そのPRに努め，来園者増を目指す。
- KPIの「全国学力・学習状況調査〔活用に関する問題〕における国の平均正答率との差」は，小学生は概ね順調だったが，中学生において国の平均正答率より低い結果となった。授業での指導方法が十分に工夫されていないことなどが要因として考えられ，教師の研修体制を強化・工夫し，指導力の向上を図るよう指導・助言を行う。

3　達成に向けた状況

≪政策分野2≫　健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

区分	施策名	指標名	H26基準値	H30実績	R1目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
基本目標		**健康寿命の延伸**	**平均寿命 男80.18歳 女88.66歳 健康寿命 男78.74歳 女84.60歳**	**平均寿命 男83.22歳 （+0.52） 女87.78歳 （+0.05） 健康寿命 男81.44歳 （+0.61） 女83.52歳 （+0.10）**	**平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加**		○		
（1）災害に強いまちづくりの推進	①災害に強い都市構造の形成	民間緊急避難施設数	2施設	10施設	8施設	○			
		下水道による都市浸水対策達成率	3.6%	4.2%	3.9%	○			
	②防災体制の充実・強化	消防団員数	99人	99人	125人				○
	③防災情報伝達体制の整備・充実	移動系防災行政無線デジタル化率	0%	0%	100%				○

3　達成に向けた状況

≪政策分野2≫　健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る　（続き）

区分	施策名	指標名	H26基準値	H30実績	R1目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
(2)暮らしの安全・安心の確保	①安全な交通環境と人にやさしい空間の整備・充実	年間交通事故件数	210件	142件	100件		○		
	②防犯対策の推進	年間犯罪発生件数	272件	186件	130件		○		
(3)健康づくりの推進	①健康づくりのための保健サービスの充実	健康づくりサポーター養成講座年間延べ参加者数	80人	91人	100人		○		
(4)豊かな高齢社会の形成	①地域における支援体制の充実と地域包括ケアシステムの構築	地域ケア会議年間開催回数	2回	9回	12回		○		
	②介護予防の推進と介護サービス基盤の整備	地域密着型サービス事業所数	3箇所	7箇所	7箇所	○			
	③高齢者の安心な生活の支援	地域コミュニティの拠点数	0箇所	2箇所	3箇所			○	

3　達成に向けた状況

≪政策分野2≫　健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る　（続き）

区分	施策名	指標名	H26基準値	H30実績	R1目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
(5)住宅住環境の整備	①下水道の整備	下水道処理人口普及率	97.8%	98.6%	99.0%			○	
	②町営住宅の計画的な整備	大規模改修整備戸数	0戸	0戸	78戸				○
	③山畝地区の基盤整備	山畝地区基盤整備計画の策定状況	0%	0%	100%				○
(6)利便性・快適性を備えた公共施設等の整備	①社会教育施設の整備・充実と有効活用	社会教育施設年間延べ利用者数	188,059人	184,7751人	190,000人		○		
	②交通空白地域の解消と交通アクセス利便性の向上	循環コミュニティバス年間延べ利用者数	40,936人	31,508人	44,000人				○
小計						3	6	2	5

3　達成に向けた状況

≪政策分野2≫　健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る　（続き）

【基本目標の検証】

- 基本目標の「健康寿命の延伸」については，平成30年度の実績は，平均寿命の増加（男性＋0.52歳，女性+0.05歳）に対し，健康寿命の増加が男性＋0.61歳，女性＋0.10歳となり，計画上の目標である「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」を達成した。
  引き続き，健康づくりの推進に向けた取り組みを進める。

基本目標	H25基準値	R1目標値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績
健康寿命の延伸	**平均寿命** 男80.18歳 女88.66歳 **健康寿命** 男78.74歳 女84.60歳	**平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加**	**平均寿命** 男79.85歳 （-0.33） 女86.37歳 （-2.29） **健康寿命** 男78.40歳 （-0.34） 女83.23歳 （-1.37）	**平均寿命** 男82.20歳 （+2.35） 女88.19歳 （+1.82） **健康寿命** 男80.49歳 （+2.09） 女83.23歳 （±0）	**平均寿命** 男82.70歳 （+0.5） 女87.73歳 （-0.46） **健康寿命** 男80.83歳 （+0.34） 女83.42歳 （+0.19）	**平均寿命** 男83.22歳 （+0.52） 女87.78歳 （+0.05） **健康寿命** 男81.44歳 （+0.61） 女83.52歳 （+0.10）

〔※（　）は対前年度からの増減〕

３　達成に向けた状況

≪政策分野２≫　健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る　（続き）

【「遅れ」や「やや遅れ」となった主な要因と対応の方向性】

- KPIの「消防団員数」は，平成30年度の実績が99人と計画上の目標値125人を下回る結果となった。平成29年度→平成30年度は，107人→99人と，減少していることから，目標値125人を目指し，成人式等の各種イベント等の機会を利用し，入団促進のPRを実施し，消防団員の確保に取り組む。
- KPIの「地域コミュニティの拠点数」は，平成30年度の実績が2箇所と計画上の目標値の3箇所を下回る結果となった。平成30年度から行っている認知症カフェ運営事業補助金を周知し，地域コミュニティの拠点立ち上げの推進を図る。
- KPIの「循環コミュニティバス年間延べ利用者数」は，平成30年度の実績が31,508人と計画上の目標値44,000人を下回る結果となった。これは平成30年7月豪雨災害による運行休止及びダイヤ改正を行ったことによる減少が主な要因となっている。今後，地域公共交通網形成計画を策定する中で，その他の公共交通も含めて地域にとって最適な公共交通体系を整理し，循環バスにとって適正な運行ルート等の見直しを進める。

3　達成に向けた状況

≪政策分野3≫　海田町への新しいひとの流れをつくる

区分	施策名	指標名	H26基準値	H30実績	R1目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
基本目標		人口の社会増減	+199人	+111人	毎年度＋を維持	○			
(1)織田幹雄さんにちなんだまちづくり	①織田幹雄さんの偉業の継承とスポーツのまち・海田づくり	スポーツ大会年間延べ参加者数	1,889人	1,323人	2,000人			○	
(2)自然と文化が息づく海田町の魅力の発信	①地域資源の活用	Facebookによる年間情報発信件数	69件	156件	150件	○			
(3)移住・定住の促進	①移住に向けたPRの強化	首都圏や関西圏での年間PR活動件数	0件	2件	2件	○			
	②空き家の流通促進	空き家の利用転換率	0%	0%	5%				○
(4)拠点づくりの推進	①海田市駅南口のにぎわいづくり	土地区画整理事業区域内の居住人口	0人	0人	200人				○
小計						3		1	2

3　達成に向けた状況

≪政策分野3≫　海田町への新しいひとの流れをつくる　（続き）

【基本目標の検証】

- 基本目標の「人口の社会増減」は，平成30年の実績が+111人と計画上の目標値である「毎年度プラス値を維持」し，順調に推移している。今後も継続して施策を総合的に展開し，実績値の推移を注視していく。

基本目標	H26基準値	R1目標値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績
人口の社会増減	+199人	毎年度＋を維持	+49人	+208人	+118人	+111人

【「遅れ」や「やや遅れ」となった主な要因と対応の方向性】

- KPIの「スポーツ大会年間延べ参加者数」は，平成30年度の実績が1,323人と計画上の目標値である2,000人を下回る結果となった。平成29年度→平成30年度は，1,558人→1,323人と減少している。平成29年度からの減少の要因は，平成30年7月豪雨災害により，中止になった大会があったため。スポーツ大会年間延べ参加者数は，町内で実施するマラソン大会や駅伝大会等を対象としているが，ニーズに合わせた大会を開催し，参加者の増加に取り組む。
- KPIの「空き家の利用転換率」は，空き家の発生予防，利活用，除却を柱とした空家等対策計画を令和元年度に策定した。今後対策を進めていく。
- KPIの「土地区画整理事業区域内の居住人口」は，海田市駅南口土地区画整理事業の事業目的のひとつとして，区域内に都市型住宅の導入を図ってきたが，区域内の宅地については，商業施設が立地したため，KPIの達成が困難となったが，一方で駅前に新たな賑わいの創出が期待される。

3　達成に向けた状況

≪政策分野4≫　働きがいのある就労の場を確保する

区分	施策名	指標名	H26基準値	H30実績	R1目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
基本目標		**創業支援事業計画に基づく年間起業者数**	**0人**	**4人**	**6人**			○	
(1)雇用の場の確保	①町内における雇用安定の促進と労働環境の整備	創業支援計画に基づく創業支援相談年間人数	0人	18人	30人			○	
	②連携中枢都市(広島市)や近隣各町と連携した雇用の場の確保に向けた取組	安芸区役所の就労支援窓口(ハローワーク)の年間利用件数	0件	9件	30件				○
(2)交通網の整備	①道路網の骨格形成	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく計画的な橋りょうの修繕数	累計3橋(3.7%)	累計5橋(6.1%)	累計7橋(8.6%)			○	

3　達成に向けた状況

≪政策分野4≫　働きがいのある就労の場を確保する（続き）

区分	施策名	指標名	H26基準値	H30実績	R1目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
(3)商工業の振興	①活力とにぎわいのある商工業が根づくまちの形成	中小企業融資制度年間斡旋件数	42件	42件	50件			○	
	②連携中枢都市(広島市)や近隣各町と連携した商工業振興に向けた取組	各種支援を受ける年間企業件数	0件	4件	10件			○	
小計								5	1

3　達成に向けた状況

≪政策分野4≫　働きがいのある就労の場を確保する　（続き）

【基本目標の検証】

- 基本目標の「創業支援事業計画に基づく年間起業者数」は，平成30年度の実績が4人と計画上の目標値6人を下回る結果となった。平成29年度に，町独自の助成制度である「海田町の魅力づくり推進補助金」を創設し，創業支援に取り組んでいる。今後，町独自制度や商工会が実施する「創業塾」等の支援メニューのPRを行い，起業者数の増加を図る。

基本目標	H26基準値	R1目標値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績
創業支援事業計画に基づく年間起業者数	0人	6人	0人	3人	2人	4人

【「遅れ」や「やや遅れ」となった主な要因と対応の方向性】

- KPIの「創業支援計画に基づく創業支援相談年間人数」は，平成30年度の実績が18人と平成29年度比＋11人と増加しているが，計画上の目標値30人を下回る結果となった。今後，町独自の助成制度である「海田町の魅力づくり推進補助金」や広島安芸商工会が実施する起業塾等の支援メニューのPRを行い，利用促進を図る。
- KPIの「安芸区役所の就労支援窓口（ハローワーク）の年間利用件数」は，平成30年度の実績が9件と計画上の目標値30件を下回る結果となった。平成29年度→平成30年度は，11件→9件と減少している。この就労支援窓口は，週1回しかなく，時期によっては受入れを断られることもあり，KPIの達成が困難な状況であるが，今後も身近な場所で利用ができることをPRし，利用の促進を図る。
- KPIの「中小企業融資制度年間斡旋件数」は，平成30年度の実績が42件と計画上の目標値50件を下回る結果となり，平成29年度→平成30年度は，45件→42件と減少している。今後も融資制度のPRを行い，利用の促進を図る。